

2022年7月14日

～ 『NCB オープンアクセラレーター@福岡 2022』 ～
**新規事業テーマの決定および
 新規事業創出に協業するスタートアップ企業の募集について**

西日本シティ銀行（頭取 村上 英之）は、2022年4月22日に開始した『NCB オープンアクセラレーター@福岡 2022*1』（以下「本プログラム」）において、参加企業5社が新規事業テーマを決定しましたので、お知らせします。

本プログラムは、参加企業が自社で保有する技術やノウハウ、販路などのリソースと、スタートアップ企業が保有する革新的なビジネスモデルや先進的な技術・ノウハウを複合させることで、新規事業を創出することを目的としています。

今般、参加企業がそれぞれ決定した下記のテーマに賛同し、新規事業創出に協業するスタートアップ企業を2022年8月7日まで募集します。

たくさんのご応募お待ちしております。

※1『NCB オープンアクセラレーター@福岡 2022』とは、当行と KPMG ジャパンが連携し、毎年5社程度の参加を募り、新規事業創出をスタートアップ企業や行政・教育機関などとも連携して、実際の事業化まで9か月間にわたってフルサポートするとともに、参加企業内に新規事業創出のスペシャリストを育成するプログラムです。詳細は「別紙」または、2022年4月22日のニュースリリース「[地域中核企業の新規事業創出をフルサポートするプログラム『NCB オープンアクセラレーター@福岡 2022』の立ち上げについて](#)」をご参照ください。

記

1. 募集期間

2022年7月14日（木）～2022年8月7日（日）

2. 参加企業が決定した新規事業テーマ

参加企業各社の新規事業テーマの背景や目的など詳細については、専用 WEB サイト（<http://www.ncb-open-accelerator2022.com/>）をご参照ください。

参加企業名	新規事業テーマ
(株)QTnet	①メタバース×ビジネスソリューション ②e スポーツコミュニティにおける新たなエンゲージメントのカタチ
(株)久原本家グループ本社	①お客さまとつながり、共に成長する企業へ ②新たな販売チャネル提供によるファン拡大
(株)ドーワテクノス	九州発、サステナブルな地域づくりに挑戦！ 「自然×テクノロジー」の新しい癒しのカタチ
(株)にしけい	①にしけいマスコットによるキャラクタービジネス ②身近に『安心安全』を感じる移動スタイル B2C 事業
福岡ソフトバンクホークス(株)	①総合エンターテインメント企業を目指し、施設を活用した AR 技術の開発・AR 技術を活用したエンタメコンテンツ企画 ②ホークス既存のファンクラブ ×ブロックチェーン技術での新しい価値提供

(注) 五十音順

3. 募集要項およびスケジュール

募 集 企 業	<p>全国のスタートアップ企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ スタートアップの分野、業種、設立年数、資金調達状況、本社所在地等は問いません。 ▶ 公序良俗に反する企画や「ギャンブル、政治、宗教、反社会的勢力」に関する企画、法律に反する企画は対象外とします。 ▶ 募集条件、注意事項に反する応募であることが判明した場合は、応募対象外となります。
募 集 内 容	<p>参加企業5社が決定した新規事業テーマに対する協業案など(1ページ目をご参照ください)</p> <p>(注)複数社・複数のテーマに応募いただけます。</p>
募 集 条 件	<p>①Throttle※2に登録していること</p> <p>【Throttle への登録方法】各企業の専用 WEB ページ上にある「応募はこちら」を押下いただくと、Throttle へ遷移し、登録いただけます。</p> <p>②既に法人登記していること</p> <p>③本プログラムで予定しているイベント（成果報告会など）に参加が可能であること</p>
応 募 方 法	<p>以下の専用 WEB サイトからご応募ください。</p> <p>http://www.ncb-open-accelerator2022.com/</p>
ス ケ ジ ュ ー ル (予 定)	<p><募 集 期 間> 7月14日(木)～8月7日(日)</p> <p><一次選考発表> 8月22日(月)</p> <p><二次選考発表> 9月7日(水)</p> <p><最終選考発表> 10月10日(月・祝)</p> <p><実 証 実 験> 10月10日(月・祝)～2023年1月上旬(予定)</p> <p><成 果 報 告 会>2023年1月下旬(予定)</p>

※2 Throttle (スロットル) とは、新規事業開発やイノベーション創出のための活動に最適化された SaaS 型イノベーションマネジメント・プラットフォームです。

以 上

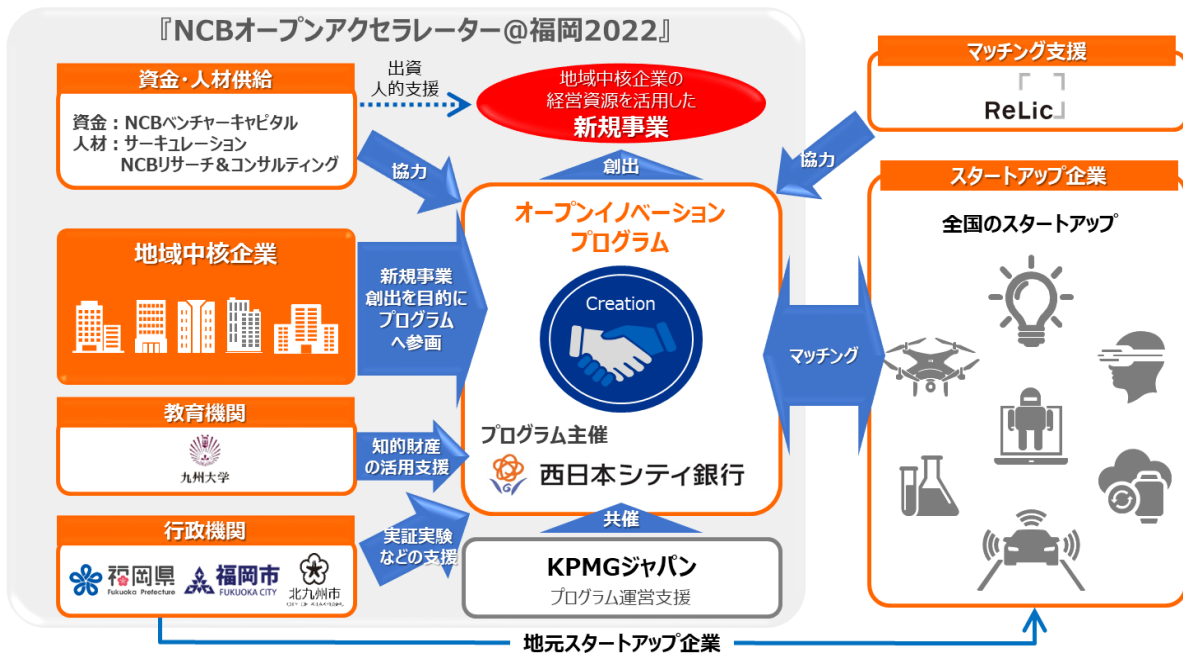
本件に関するお問い合わせ先
 法人ソリューション部 伊藤(宏)・高橋(利) TEL 092-476-2741

■ 『NCB オープンアクセラレーター@福岡 2022』 について

1. 本プログラムの概要

主 催	西日本シティ銀行																		
共 催	KPMG ジャパン																		
本プログラムの目的	<p>(1) 短期間で新規事業創出を実現 (2) 新規事業創出のスペシャリストを育成</p> <p>当行と KPMG ジャパンは、本プログラムにおいて①参加企業の課題、事業リソース等の整理②スタートアップ企業の募集、選定支援③スタートアップ企業との協業のためのノウハウの提供④事業化に向けた実証実験の支援など約9か月間サポートを行います。</p> <p><図：全体スケジュール></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ステップ</th> <th>プログラムにおける主要マイルストーン</th> <th>所要時間</th> <th>開始月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">Step1 事前準備</td> <td>本プログラムに参加する地域中核企業の課題特定 ✓ 本プログラムにおける地域中核企業の達成目標 (本プログラムが成功したと見なせる状態) を定義する</td> <td rowspan="2">14週間</td> <td rowspan="2">4月~</td> </tr> <tr> <td>協業系のテーマ設定 ✓ スタートアップ企業向けに共有・開放する事業・リソースを決定する</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">Step2 マッチング</td> <td>スタートアップ企業の絞り込み (書類選考 / スタートアップ企業とのディスカッション) ✓ スタートアップ企業のアイデアだけでなく、テーマも加味した上で協業候補を選定する</td> <td rowspan="2">12週間</td> <td rowspan="2">7月中旬</td> </tr> <tr> <td>事業化を見据えたビジネスプランの採択 (プレゼン選考) ✓ 事業化を見据えて協業案を採択する</td> </tr> <tr> <td>Step3 事業化</td> <td>事業化判断 事業化推進</td> <td>12週間 + α</td> <td>10月初旬 12月末</td> </tr> </tbody> </table> <p>新規事業創出をフルサポート</p>	ステップ	プログラムにおける主要マイルストーン	所要時間	開始月	Step1 事前準備	本プログラムに参加する地域中核企業の課題特定 ✓ 本プログラムにおける地域中核企業の達成目標 (本プログラムが成功したと見なせる状態) を定義する	14週間	4月~	協業系のテーマ設定 ✓ スタートアップ企業向けに共有・開放する事業・リソースを決定する	Step2 マッチング	スタートアップ企業の絞り込み (書類選考 / スタートアップ企業とのディスカッション) ✓ スタートアップ企業のアイデアだけでなく、テーマも加味した上で協業候補を選定する	12週間	7月中旬	事業化を見据えたビジネスプランの採択 (プレゼン選考) ✓ 事業化を見据えて協業案を採択する	Step3 事業化	事業化判断 事業化推進	12週間 + α	10月初旬 12月末
ステップ	プログラムにおける主要マイルストーン	所要時間	開始月																
Step1 事前準備	本プログラムに参加する地域中核企業の課題特定 ✓ 本プログラムにおける地域中核企業の達成目標 (本プログラムが成功したと見なせる状態) を定義する	14週間	4月~																
	協業系のテーマ設定 ✓ スタートアップ企業向けに共有・開放する事業・リソースを決定する																		
Step2 マッチング	スタートアップ企業の絞り込み (書類選考 / スタートアップ企業とのディスカッション) ✓ スタートアップ企業のアイデアだけでなく、テーマも加味した上で協業候補を選定する	12週間	7月中旬																
	事業化を見据えたビジネスプランの採択 (プレゼン選考) ✓ 事業化を見据えて協業案を採択する																		
Step3 事業化	事業化判断 事業化推進	12週間 + α	10月初旬 12月末																

2. 本プログラムのスキーム



- 当行が本プログラムを主催し、本プログラム参加企業の経営資源を活用し、スタートアップ企業とのアイデア・技術・ノウハウとのマッチングにより、新規事業創出を実現します。
- 当行と KPMG ジャパン、スタートアップ企業のコーディネーターである株式会社 ReLic が連携し、教育機関や行政機関などの支援を受けながら、本プログラムの実行をサポートします。